

英語の録音・振り返りシート

点数やCEFR認定を出すシートではありません。「この条件で何ができたか」を記録し、次の練習を決めるために使います。音声の保存・共有は相手の同意と学校のルールに従ってください。

記入済み例：経験と理由を話す

以下は編集部が作成した架空の例です。発話・時刻・結果は説明用で、実在学生の成長記録ではありません。音声ファイルはありません。

目標

昨日の出来事を一つ説明し、楽しかった理由を一つ添える。

条件

練習1日目。準備30秒・録音60秒・初回。原稿、辞書、AIなし。一人で録音。静かな部屋。

記録名

day01-weekend-first（説明用の名前。実ファイルはありません）

発話の手がかり

00:05 「I went to the park.」

00:18 「I... take photo.」

00:33 「It was fun.」

以上は抜粋。楽しかった理由は録音内で述べていない設定。

できたこと

公園へ行ったことと、楽しかったことを述べた。出来事は話せている。

まだ確かめたいこと

理由を言えていない。「take」の箇所も過去の話に合う形を確認したい。ただし今回は理由を加える練習を先にする。

今回の自己評価

目標の一部を確認。理由まで伝える目標は、まだ達成としない。一人での発話であり、相手への伝わり方は未確認。

次にすること

楽しかった理由を日本語で一つ決め、短い英文を自分で作る。表現を確認して練習した後、支援なしの再録音を別に残す。

再確認

練習3日目に、別の出来事で同じ準備・録音時間を使う。理由を言えた箇所、道具と援助を記録する。結果は未実施。

残す理由：出来事は述べたが理由を述べていなかったため、次の練習を決める手がかりにする。見直した日：練習1日目。

支援：なし。

空欄シート：自分の録音で確かめる

一度に全部を測らず、一つの目標に絞ります。聞き取れない所や未確認の項目は、そのまま書き残しましょう。

録音日・振り返り日／記録名：日時、保存先、選んだ理由

目標と課題：どの場面で、何をできたらよい？ 質問・素材も記入

条件：準備／録音の時間、初見か、何回目か、原稿・辞書・AI利用

相手・援助・環境：一人／会話、相手の助けと箇所、周囲の音や体調

発話の手がかり：録音の時刻＋実際の言葉、または観察した反応

空欄シート：続き

前ページの続きです。根拠と未確認の点を分けて記入します。

できたこと：どの発話・反応から判断した？

まだ確かめたいこと：分からない点、未確認の点を残す

今回の自己評価：目標を確認／一部を確認／今回は未確認。根拠も書く

次の練習を一つ：どの行動を、どんな手順で練習する？

再確認する日・条件：同じ課題と別の課題を区別。何を見て判断する？
